

# つながる、ひろがるコミュニティスクール新宮小学校

## 学校教育目標 心豊かにかかわり合い、共に学ぶ子どもの育成

新宮小学校は、開校131年の歴史ある学校です。11月1日現在、1,073人の児童が通う大規模校です。地域のみなさんや家庭に見守られ、充実した教育活動を行ってきました。

本年度も学校、家庭、地域が子どもたちを中心にして繋がる「コミュニティスクール」としての役割を果たせるよう、笑顔をキーワードに、チーム力を発揮しながら頑張っています。

### 「わがまち、しんぐう」

#### ～地域のひと・もの・ことのふれ合いをとおして～



▲いちごの苗植えを教わる3年生

子どもたちが心豊かに育っていくための基盤となるものは、地域の人・もの・ことを知り、愛着をもつ心です。本校では、各学年に応じて地域のみなさんと触れ合ったり協働的な学習をしたりしています。地域のお年寄りや見守り隊のみなさんとの交流や、農家の人と一緒にいちごの苗を植えるなど、子どもたちは地域のみなさんとの触れ合いや体験を楽しみながら新宮町のよさを再発見しています。今後も多くの人に大切に守られていることに気付き、自分も地域の一員であることや、自分や他者を大切にしていこうという心を育てていきたいと考えています。

### 自分の命を守るために

#### ～防災・引き渡し訓練～

近年、各地で豪雨や地震などの自然災害による甚大な被害が発生しています。本校でも命の大切さを学ぶと同時に、命を守るための行動などを身に付けるために、緊急時に備えて避難訓練を行っています。10月26日に、役場や消防署からゲストティーチャーを迎え、防災学習や地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。その後、保護者への引き渡し訓練を行いました。翌日には新宮町防災訓練も実施され、学校、家庭、地域でつながるよい機会になりました。



▲安心安全を守る保護者への引き渡し訓練



▲防災学習で備蓄について学びました